

自動車運転再開に向けた取り組み

Efforts to resume of car-driving

高齢運転者が引き起こす重大交通事故の報道が相次いでいる。2017年3月より改正道路交通法が施行され、リスクの高い運転者への対策として、臨時適性検査制度の見直し、臨時認知機能検査・臨時高齢者講習制度の新設など、特に高齢運転者への重点的な対応が図られている。しかし、買い物や仕事など社会生活を送るうえで自動車運転を必要とするものの、身体機能障害者、高次脳機能障害者、その他医学的管理を要する疾患など病態や障害が各人で異なるため、具体的な基準や手順が整備されていない状況にあり、医療現場でも混乱がみられている。一方で、本テーマを主題とする各研究会が連携し、全国的にも大きなうねりをみせている。本特集では、自動車運転再開にあたって、臨床現場で知っておくべき内容をリハビリテーションの観点から解説していただいた。

現状と課題 蜂須賀研二氏…………… 291

わが国の自動車運転リハビリテーションは1961年に国立身体障害者更生指導所で開始された「自動車操作訓練」に始まる。その後、対象患者は身体障害から認知機能障害へと広がり発展してきた。今後、神経心理学的検査や自動車運転シミュレーター（DS）を用いた効率的でエビデンスのある認知機能評価や全国統一の実車教習を行う体制を構築する必要がある。

自動車運転にかかわる認知機能 藤田佳男氏ら…………… 297

認知機能と運転行動の関係性より、運転にかかわる認知機能の下位機能として、注意・集中、視知覚機能、記憶および見当識、遂行機能、ならびに行動および情動を取り上げ、その影響について詳細な解説を加えている。テレマティクスを利用した新しい運転評価法の紹介がある。

運転に求められる身体機能 武原 格氏…………… 303

自動車運転再開を検討するための身体機能として、運動機能とADL、失語症、視野障害が重要であり、自動車運転再開を考慮できる身体機能レベルについて言及している。適切に身体機能を評価し、運転補助装置を含めた自動車改造を検討することで、自動車運転再開の支援が可能となる。

自動車運転シミュレーターを用いた運転再開評価手順 加藤徳明氏ら …… 309

筆者らが開発した簡易自動車運転シミュレーター（DS）を用いた多施設共同研究の結果に基づき、自動車運転再開にあたっての医学的判断基準や実車評価について、また、これら一連の包括的評価手順に関して概説されている。スクリーニングとして有用な机上課題、医療機関で使用報告のある各 DS の比較についても述べられている。

新潟県での取り組み―障害と自動車運転に関する研究会活動 崎村陽子氏 …… 317

筆者らは新潟県で「障害と自動車運転に関する研究会」を発足させ、地域での医療機関・自動車教習所・免許センターとの連絡体制を構築した。その地道な活動は全県レベルにまで広がり発展している。連携にあたって、連絡体制の構築や運営のポイント、今後の課題について述べられており、大変参考になる。

ニュース 書評 お知らせ	重度障害者の意思読み取るソフト活用、小さな動き可視化（高松養護学校で試み）…	307
	おしゃれの夢かなったよー入院患者がファッションショー（長良医療センター）…	315
	東京五輪パラリンピック、共生社会へ行動計画―障害者の視点生かす（UD 会議）…	325
	福祉の外国人労働 1 万 7,434 人に一厚生労働省 ……	335
	発達障害支援で勧告―厚生労働省・文部科学省に早期発見など（総務省）…	349
	手話通訳士 119 人が合格―第 28 回試験…	366
	「ノーマライゼーション 障害者の福祉」2 月号・特集目次 ……	371
	私に合う機器は？―障害者とメーカーが交流会 ……	375
	災害やイベント用にトイレカー導入―苫小牧市 ……	384
	健康格差社会への処方箋（評者：五十嵐 隆）…	342
	リハ栄養フォーラム 2017 ……	366
	第 47 回日本臨床神経生理学会学術大会・第 54 回日本臨床神経生理学会技術講習会 …	378
	第 28 回日本末梢神経学会学術集会 ……	390
	訂正とお詫び ……	335